



## 2期目の町政がスタート

### 誰もが安心して豊かに

### くらせる共生のまち月形

2期目の当選を果たした上坂町長に今後の抱負と、これからのまちづくりについて伺いました。

## 1期目の4年間で

### 振り返って

去る9月27日執行の任期満了に伴う月形町長選挙にあたりまして、町民の皆さまのご支持をいただき、2回目の当選の栄に浴し、心より感謝を申し上げます。

### ◆学びの連続

町長に就任以来、この4年間は学びの日々でした。月形の基幹産業である農業について、私は農業の素人でしたので、町民の皆さまから農業のことをたくさん教えていただきました。主食ではありませんが、メロ

ンやスイカなどは本当に美味しく、花卉は式典などの行事に欠かせないものです。月形の農産物はどれも心を豊かにしてくれます。改めて月形の農業の素晴らしさを感じるとともに、今後も行政のサポートが必要と考えています。また、農業だけでなく、商工業や福祉などのあらゆる分野で町民の皆さまや役場の職員に多くのことを学び、育ててもらったと感じています。

### ◆前町政を引き継いで

前櫻庭町長は「共生のまち」を掲げ、私も福祉分野で働いてきたことから、とても共感し、引き継いでまいりました。また、これからもまちの原点である開拓した先人の苦労やその歴史を後世に伝えるため、北海道遺産や日本遺産の認定を活かしながら、これからも取り組んでいきたいと考えています。

さらに、借金をつくらない健全な財政運営の考え方を引き継ぎ、これまで取り組んでまいりました。ただし、「やらなければならぬこととはやる」と時には大きな決断する場面もありました。決断したからと言って、町長がすべて決めるということではなく、議会の同意を得なければ実行できません。町民から信託を受けた町長（行政）と議会が車の両輪のように共に進まなければならぬと思います。

## 今後の課題に対して

### ◆公共交通の構築と

#### 地域拠点施設整備

平成30年12月、JR札沼線の一部廃止を容認する苦渋の決断をいたしました。JRの代替交通となるバスについては、関係機関の協力を得て、令和2年4月から運行を開始することができました。

しかしながら、地域の交通環境が充足されたわけではありません。高齢者の買い物や通院などの外出機会を支援し、「まち」に賑わいをつくるため、現在行っているデマンド交通（事前予約型交通）の実証運行を踏まえ、地域のニーズを把握していきます。

生活の足となる公共交通は町民の皆さまに関心を持って利用していただくことにより、守り、育てていくものです。公共交通を意識し、将来にわたって親しまれるものとなるよう、環境を構築していきます。

月形町では、代替バスを含む複数の路線バスが運行しています。町民はもとより、町外からの観光客などにも利用しやすい公共交通となるよう、乗り継ぎの利便性を向上させる新たな交通結節点としてバスターミナル機能を持った地域拠点施設の整備を検討します。地域拠点施設の整備につきましては、昨年、地域拠点

施設整備等審議会において答申をいただきました。

いただいたご提言を最大限尊重し、考えていきます。しかしながら、地域拠点施設整備は学校や産業団体など関係機関との連携が必要になります。今後、こうした関係団体や町民の皆さまのご意見をお聞きしながら町の方針を決めていきます。

### ◆皆楽公園の再整備

皆楽公園の施設全体は老朽化が進んでいます。中でも温泉施設や宿泊施設は老朽化に伴い、維持管理費が膨らんでいます。町の観光拠点として現在の利用者のニーズに合ったサービスを提供するため、各施設の再整備を進めてまいります。

特に月形温泉は町民の憩いの場として、公衆浴場としても親しまれており、これからも私たちの生活に必要なものですので、整備を進めたいと考えています。

おかげさまでキャンプ場の利用客が増えており、今年の利用者は5000人を超えています。より安心して楽しんでもらえるようトイレなどの衛生設備も改修していきます。

### ◆産業の振興

農業分野につきましては、素晴らしい月形形の農業を守っていくために

担い手の確保が重要です。将来の担い手となる新規就農者の確保に努め、Uターン就農者などへしっかりとサポートしていきます。

また、こめ工房の改修、青果物集出荷貯蔵施設の整備は、令和3年3月の完成を目指して進めていきます。月形町農業協同組合とも連携を図りながら、生産体制の強化と効率化を図っていきます。

商工業につきましては、町内の事業者が減少する中で、新規に町内で事業を営む企業の誘致や後継者の確保、雇用の場を拡大していくなどの対策を継続して行っていきます。

### ◆教育環境の充実、整備

私は、これまで何度も子どもたちの笑顔に励まされてきました。そんな心身ともに健やかに成長していく子どもたちには、より豊かな教育環境を整備し、提供していかねければならないと考えます。

特に加速するデジタル化に備え、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想の実現」(※)に向けて、タブレット端末機の導入やパソコンの入れ替えなど校内の環境整備を進めています。今後も時代に対応した整備を進めてまいります。

また、地域とともにある学校づくりを目指した「コミュニティ・ス

クール」の中で、小中一貫校を含め、将来を見据えた教育活動を考えてまいります。

※子ども1人につき1台の情報端末機を配布し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりに最適な教育を実現する構想

### 月形の輝く未来のために

これまで、月形町のたくさん課題について述べてきましたが、これからの4年間で改めて町民の皆さまと話し合い、課題解決の優先順位を決め、取り組んでいきたいと思えます。

月形町に住んでいる以上、すべての町民の皆さまがまちに関わっていると云えます。仕事やサークル活動など、何らかの形でそれぞれが役割を全うし、まちづくりに関わっているはずで、町民の皆さまお一人おひとり、あなたが主人公なのです。年齢、性別、障がいの有無なども関係ありません。「月形を良くしていこう、もっと良くなったらいいな」という思いは皆さん一緒だと思えます。まちを良くしていくためには、「誰かが倒れたら、手を差し伸べる、助ける」というような他人を尊重し、相手を信頼し、弱い立場の人を思いやること、そんな当たり前の気持ちがある根底にあると私は思います。「誰もが安心して豊かにくらせる共生のまち月形」を町民の皆さんとともに築き上げていきます。

## 議

## 会

10月20日に令和2年第5回町議会臨時会が招集されました。

審議された内容は次のとおりです。

■専決処分の承認を求めることについて(令和2年度月形町一般会計補正予算第7号)

□歳入歳出予算の総額をそれぞれ185万7000円増額しました。予算総額

59億1161万5000円

■常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

□町長の11月分の給与を10%削減することとしました。

■令和2年度月形町一般会計補正予算第8号

□歳入歳出予算の総額をそれぞれ6万8000円減額しました。予算総額

59億1154万7000円

■月形町副町長の選任について

□月形町副町長の任期満了に伴い月形町副町長について、次の方が同意されました。

月形町字スベツ太2番地25

堀 光一 氏

任期 令和2年11月1日から令和6年10月31日